

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Rainbow Kids Lab		
○保護者評価実施期間	2025年2月5日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日		2025年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動に合わせて、場を選択できるような生活空間となっており、安心して過ごしやすい場を提供することが出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> ・人数、子ども同士の発達段階、特性や相性等を踏まえた上で、組み合わせを配慮しています。 ・日々の利用人数、子どもの発達段階に応じて、必要な人数を配置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じて視覚的情報を活用したり、構造化を図りながら、子どもたちが安心して過ごすことができるように心がけていきます。 ・お子様一人ひとりの興味を引き出すことが出来るような壁面や教具の充実をより一層図っていきます。
2	活動プログラムが固定されないように工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの状況や活動内容に合わせて、場の選択をすることができる空間づくりがなされています。 ・個々の課題と興味を結び付けながら、活動内容を幅広く展開していくことができるような環境を整えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育内容や支援内容について、計画と振り返りの時間を確保しながら、充実を図っていきます。 ・興味の幅を広げられるような働きかけ、関心を引き出すことができるような活動作りに積極的に取り組んでいきます。
3	各関係機関と連携し、包括的な支援を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の状態を踏まえながら、必要に応じて園・学校等の関係機関と連携し、情報を共有しています。 ・園・学校での困りごと等について、事業所までのご様子を踏まえながら、支援内容の擦り合わせを行い、進捗状況を確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携に後ろ向きな園・学校もある為、介入方法を検討しながら、少しずつ信頼関係を構築していきます。 ・連携等に参画できる職員の数、質を高めていくとともに、療育と並行しながら効果を実感していただけるようなフィードバックを重視していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容の共有や事務連絡等、職員間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の事業所運営の中で、最低限の情報共有は行われていますが、毎月の事業所内会議の中で、支援内容の検討、療育内容についての振り返り等を話し合う機会が少ない状況にあります。 ・職員の経験年数に差があり、双方向的な意見交流が行えていない可能性があると感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き時間を活用して、話し合いの時間を積極的に設定することを目指していきます。 ・外部研修等を取り入れながら、職員の全体的な質の向上を図るとともに、内部でのヒアリングを通して課題を解決していくことができるように努めていきます。
2	個別活動と集団活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動の充実は図れていますが、集団活動を取り入れたプログラムや内容設定に課題があると感じています。 ・1対1の関わりにおける職員の技術向上に注力しており、集団指導の経験がある職員が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動における提供価値を振り返りながら、現在の事業所の強みを集団活動にも活かして、プログラムを検討していきます。 ・お子様・保護者様のニーズや課題を把握しながら、集団活動を想定したねらい、働きかけを日々設定する等、職員の質の向上を図っていきます。
3	地域に開かれた事業運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会には地域の保護者も参加できるようにしておりますが、案内の掲示などが広く拡散出来ておらず、地域住民等への連絡手段が希薄な状況にあると考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達センターとの連携や地域の子ども家庭支援センターに掲示をご依頼する等、地域住民などに積極的に開かれた事業運営を目指していきます。 ・地域のお子様も参画できるような余暇活動やイベントの立案、相談会等を開き、保護者様にも周囲にお声掛けいただけるよう努めていきます。